

# 入試情報 Entrance Examination

■ 選抜区分ごとの選抜時期・選抜方法など(概要)

選抜区分	募集人員	選抜時期など(目安)			主な提出書類				選抜方法など			
		出願	試験	合格発表	調査書	活動報告書	志望理由書	推薦書	大学入学共通テスト	書類審査	学力検査	面接
総合型選抜	15人	9月上旬	10月中旬	11月上旬	○	○	○	—	—	○	○※3	○
学校推薦型選抜	地域枠※1	10人										
	全国枠	13人	11月上旬	11月下旬	12月中旬	○	○	○	○	—	○	○※3
	専門高校枠	2人										
一般選抜(前期)	25人	1月下旬	2月下旬	3月上旬	○※2	—	—	—	○	—	○※4	—
一般選抜(後期)	15人	1月下旬	3月中旬	3月下旬	○※2	—	—	—	○	—	—	○

※1.福山市内の高等学校などに在籍している者または福山市内に在住している者が対象です。 ※2.一般選抜において、調査書の点数化は行いません。 ※3.総合型選抜、学校推薦型選抜における学力検査では、数学および情報の筆記試験を実施します。 ※4.一般選抜(前期日程)における学力検査では、数学の筆記試験を実施します。

選抜区分ごとの出願資格や選抜方法、配点などの詳細については、「福山市立大学 2027年度(令和9年度)入学者選抜要項【情報工学部】」をご覧ください。

## 学費について

【入学科(初年度のみ)】福山市内の者 253,800円 / 福山市外の者 423,000円  
【授業料】年額535,800円 ※別途実習費などががかかります。



〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号  
TEL.084-999-1070 (経営企画課)  
E-mail keiei@fcu.ac.jp

大学HPはコチラ



<https://www.fcu.ac.jp>

情報工学部HPはコチラ



<https://www.fcu.ac.jp/joho/>

SNS随時更新中!



福山駅から約2km

路線バスを利用する場合

- 中国バス(所要時間9分)  
福山駅前2番乗り場「手城経由鋼管病院行」乗車、「福山市立大学」または「手城入口」下車
- 中心部循環路線まわローズ(所要時間14分)  
福山駅北口「青ルート」乗車、「リーデンローズ入口」下車

# 情報工学部 情報工学科 2027年4月 開設

ものづくりのまちで、  
わたしが誇る技術者になる。

# ものづくりのまち福山で、 地域の未来を創造する技術者を育成。

近年、DXの加速度的な進展、脱炭素社会に向けた社会・経済システムの変革を受け、

社会のあらゆる分野で「モデル・データを用いたデジタルものづくり」と

「サイバーセキュリティ・情報通信ネットワーク」に関する知識・技術を持つ人材が求められています。

こうした社会経済情勢や地域ニーズを踏まえ、情報工学部では、地域のデジタル化やイノベーション創出に結び付く

実践的な教育研究活動により、地域の発展・企業の成長の原動力となる人材を育成することで、

持続可能な地域社会の発展に寄与することを目的としています。

## 情報工学部 情報工学科 定員 80人

ものづくり産業におけるデジタル人材を育成する「デジタルものづくりコース」と、

安心・安全に情報システムを構築・運用できるセキュリティ人材を育成する

「サイバーセキュリティコース」の2つのコースを展開します。



## 専門性に特化した 学びを通して、 地域を支える 産業IT人材を育てる。

副学長(情報工学部着任予定教員)

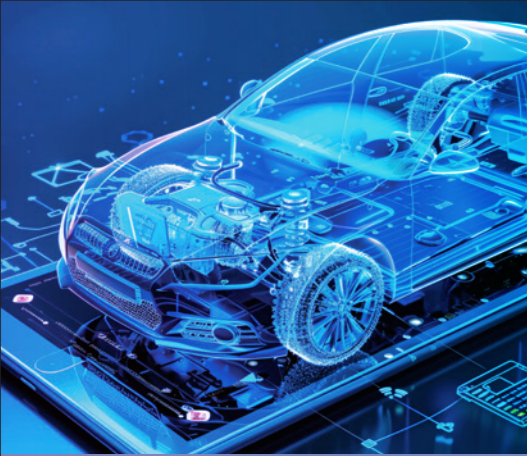
渡辺 健次 教授

AIやIoTなどの技術革新が進む中、特に福山市を含む備後圏域では労働力不足が懸念される一方、製造業などの基幹産業の発展にDXやIT人材が求められています。本学科では、「デジタルものづくり」と「サイバーセキュリティ」の2つを核とした実践的教育を展開し、情報工学の基礎知識に加え、地域産業の課題を論理的に解決する能力を養います。

デジタルものづくりコースでは、現象を数式でモデル化しシミュレーションを行う「モデルベース開発」を習得。試作なしで最適解を導き、開発コストの削減とDXを牽引します。サイバーセキュリティコースでは、インターネットの構造などの基礎の部分から理解した高度な技術者を育成。専門人材を地域で育てることで、地域の産業を足元から守り、安心・安全なICT環境の実現に貢献します。

さらに、地元企業と連携したPBL(Project-Based Learning=課題解決型学習)の導入に加え、最新設備を備えた情報棟も新設され、産学連携拠点として企業の研究員とともに知識を深めていくことができる点も特色です。本学科は学校推薦型選抜に「地域枠」を設け、地域貢献などに意欲的な学生を後押しする仕組みを用意しています。





## Digital Monozukuri Course

# デジタルものづくりコース

モデルベース開発を中心とするものづくりの知識・技術を学ぶ

### 学びのキーワード

#モデルベース開発 #システム制御 #データ駆動型システム  
#人工知能 #シミュレーション

### 授業

モデルベース開発や計測・制御、IoT、組み込みシステムなどに関する授業を通じて、ものづくりに必要となるモデリング技術やシミュレーション技術を学び、シミュレーションモデルを用いて、製品設計、評価・検証および実装を行う知識・技術を身に付けます。

### デジタルものづくり実験

コンピュータシミュレーションによる設計、評価・検証を行うものづくり実験を行います。2年次にはデジタルものづくりの仕組みを学び、3年次には「モデル」と「データ」の相互作用による新しいものづくり開発技術を学びます。

### 想定される卒業後の進路

機械・情報関連、電気・電子・半導体関連など多岐にわたるものづくり企業での活躍を想定しています。

自動車製造業 / 重機械工業 / 電機・化学メーカー / 制御機器メーカー / 官公庁・公共機関  
医療機関 / 金融機関 / 大学院進学 / スタートアップ・起業など



## Cybersecurity Course

# サイバーセキュリティコース

情報通信ネットワークとサイバーセキュリティの知識・技術を学ぶ

### 学びのキーワード

#システム構築 #プログラミング #暗号・符号理論  
#コンピュータアーキテクチャ #コンピュータネットワーク

### 授業

コンピュータネットワークやサイバーセキュリティ技術に関する授業を通じて、情報通信ネットワークやセキュリティ、プログラミングを学び、重要な情報を守るためのシステム設計・運用に関する知識・技術を身に付けます。

### サイバーセキュリティ実験

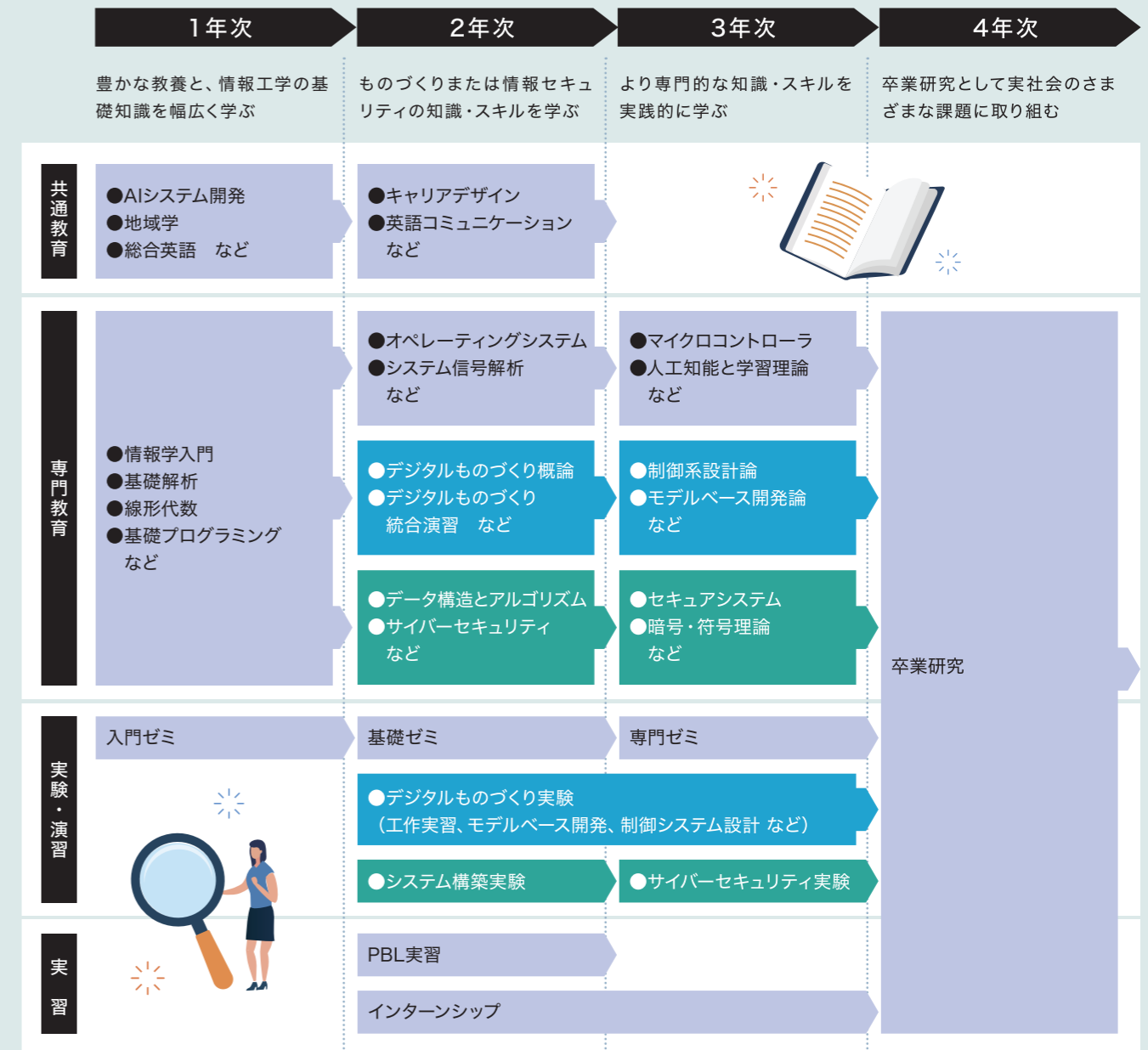
安心・安全なシステム開発と、情報を守るセキュリティ対策実験を行います。2年次には基本的なシステム構築を学び、3年次には構築した実際のシステムを用いて、攻撃に対して防御する技術を学びます。

### 想定される卒業後の進路

組織の重要な情報資産を守る人材として、多様な企業や行政機関、団体などでの活躍を想定しています。

IT企業・セキュリティ専門企業 / コンサルティング企業 / 製造業 / 通信業 / 官公庁・公共機関  
医療機関 / 金融機関 / 大学院進学 / スタートアップ・起業など

# 教育課程 Curriculum



■ 両コース共通 ■ デジタルものづくりコース ■ サイバーセキュリティコース



幅広い学士教養とデジタルものづくり分野又はサイバーセキュリティ分野において高度な専門知識・技術を持ち、地域社会と協力しながら、安心安全なデジタル社会の実現に貢献する、創造的かつ実践的なエンジニアの育成をめざします。



**めざす資格**

- ITパスポート試験 ● 基本・応用情報技術者試験
- 情報セキュリティマネジメント試験

## 1 地元企業と連携した実践型授業

地域や企業でアクティブに学ぶPBL型式の授業やインターンシップを実施します。身に付けた知識・技術を社会に活かす方法を実践的に学びながら、実社会で必要な力を培います。



## 2 最先端の知識・技術を持つ教員による少人数教育

学生一人ひとりが主体的に参加できる、双方向型の授業をめざします。教員は、最先端の知識・技術を持った実践経験豊富な人材を起用し、実社会で通用する実践的な学びを提供します。

## 3 情報工学部の教育研究拠点となる新施設を建設中 (2027年2月完成予定)

最新のデジタル技術を活用した本格的な研究を進めることができる、新たな施設を建設しています。地域や企業に開かれたイノベーション施設としても機能し、外部との交流・連携を通じて、新たな価値の創出をめざします。



※完成イメージ (内容は予定であり変更する場合があります)



オンデマンドサロン



学生研究エリア



コラボラウンジ



通路外観



講義室



リフレッシュラウンジ

### Q & A よくある質問

**Q** 地域枠などの区分によって、試験内容に違いはありますか？

**A** 学校推薦型選抜に地域枠などの区分を設けていますが、試験内容の違いはありません。詳細な選抜方法については、「入学者選抜要項」に記載しておりますので、本学のホームページからご確認ください。

**Q** コースはいつ選択できますか？

**A** 2年次からのコース配属に向け、1年次の後半にコースの希望調査を行います。本人の希望をもとに、成績や面談などを踏まえた調整を行い、配属コースを決定する予定です。

**Q** 数学や情報に苦手意識がありますが大丈夫ですか？

**A** 入学前後で基礎を復習できるサポートを用意しており、大学で必要な内容は段階的に身に付けられます。苦手意識があっても意欲を持って取り組めば十分に理解できますので安心してください。

**Q** どのようなところに就職できますか？

**A** デジタルものづくりコースでは、機械・情報関連、電気・電子・半導体関連など多岐にわたるものづくり企業に、サイバーセキュリティコースでは、組織の重要な情報資産を守る人材として、多様な企業や行政機関、団体などへの就職を想定しています。幅広い業種の企業から、本学部で育成する人材を望む声が寄せられています。

**Q** PBL型式の授業では具体的にどのようなことをしますか？

**A** PBL (Project-Based Learning) 実習では、地元企業などが抱える実課題を題材として、課題解決のプロセスを体系的に学びます。さらに、企業における情報技術の活用事例やものづくりの現場を見学することで、実社会の課題や雰囲気に触れながら、実社会で生きる知識や技術の習得をめざします。